

支援業務諮問委員会（第32回）議事概要

1. 開催日 平成28年9月16日（金）14:00～15:00

2. 場所 一般社団法人電気通信事業者協会 会議室
（東京都千代田区神田小川町1-10 興信ビル2F）

3. 出席者

【委員】（五十音順、敬称略）

石井 貞行、伊藤 正三、大松澤 清博、片野田 三生、工藤 久美子、
菅谷 実(委員長)、砂田 薫(副委員長)、田口 和博、徳永 順二、藤田 元
以上10名

（欠席 矢野 信二 1名）

【一般社団法人電気通信事業者協会】

有木 節二(専務理事)、福田 進吉(支援業務室長)

4. 議事

(1) 審議事項

- ・番号単価の算定
- ・交付金の額及び交付方法等に係る総務大臣への認可申請等
- ・負担金の額及び徴収方法等に係る総務大臣への認可申請等

(2) 報告事項

- ・支援業務に係る当面のスケジュール
- ・平成27年度収支決算（支援業務関係）
- ・周知広報活動の実施状況

5. 議事要旨

事務局

（開会宣言）

（諮問委員11名中10名出席で定足数を満たしており、本会議は成立している旨を報告）

（資料の有無を確認）

【委員長・副委員長の選任】

基礎的電気通信役務支援業務規程第27条に基づき、委員長に菅谷 実委員、副委員長に砂田 薫委員が互選され、会長から委嘱された。

委員長

本日、協会会長からの諮問事項は3件ございます。
まず、番号単価の算定について、事務局から説明願います。

事務局

(資料1に基づき、番号単価の算定について説明)

委員長

ただいまの説明内容についてご意見ご質問等ございませんか。

委員

所謂2円、3円と繰り返されるのが常態化してくるということに近いのでしょうか。

事務局

当初、29年度は通年2円で算定できそうだと見込みを立てていたのですが、実際は補てん対象額が見込みより大きくなったことにより、2円のままですと最終算定月が3月になると見込まれるため、現時点では28年度と同じような状況にならざるを得ないと考えております。

委員長

では、続いて審議事項2と審議事項3を事務局から説明願います。

事務局

(資料2に基づき、交付金の認可申請について説明)

(資料3に基づき、負担金の認可申請について説明)

委員長

ただ今の内容についてご意見ご質問等ございませんか。
特にないようでしたら、諮問のとおり取り運ぶことといたします。
以上で審議事項は終了しましたので、答申書案についてお諮りします。
ご意見等ございませんか。特になければこの内容で会長へ答申することといたします。
次に報告事項に移らせていただきます。3件まとめて事務局より説明願います。

事務局

(資料4に基づき、支援業務に係る当面のスケジュールについて、
資料5に基づき、平成27年度収支決算について、

資料6に基づき、周知広報活動の実施状況について説明)

委員長

ただいまの内容について、ご意見ご質問等はございませんか。

委員

下期に番号単価の修正が見込まれるような場合、番号単価が半期で変わらないよう工夫することはできないか。

事務局

今後の課題と認識していますが、今回は番号単価算定の原則に基づき、番号単価を算定しました。

委員

番号単価が変わるということは、色々な意味でコストが発生してくるので、できるなら同じ金額でいければと思いますが、番号単価を修正する場合、広報活動に力を入れて理解を得ることを考えてもいいのではないのでしょうか。

委員長

他によろしいでしょうか。では、報告事項につきましては、ご了解いただいたものとさせていただきます。

以上をもちまして、第32回支援業務諮問委員会を終了いたします。

ありがとうございました。